

製品名: Fyb ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11203**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	FYB
別名	FYB; SLAP130; FYN-binding protein; Adhesion and degranulation promoting adaptor protein; ADAP; FYB-120/130; p120/p130; FYN-T-binding protein; SLAP-130; SLP-76-associated phosphoprotein
遺伝子 ID	2533.0
SwissProt ID	O15117
免疫原	Fyb 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 620-700

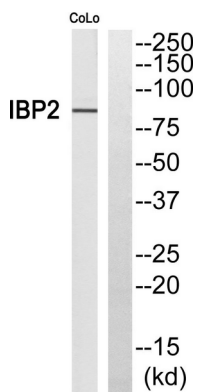
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞における FYN タンパク質および LCP2 シグナル伝達カスケードのアダプターです。コードされるタンパク質は血小板活性化に関与し、インターロイキン-2 の発現を制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年7月]、機能: T細胞における FYN および LCP2 シグナル伝達カスケードのアダプタータンパク質として機能します。インターロイキン-2 (IL-2) の発現を調節します。血小板活性化に関与します。SKAP1 および SKAP2 の分解を防ぎます。、PTM: T細胞受容体のライゲーションにより、チロシンリン酸化が増加します。、類似性: 1つの SH3 ドメインを含みます。、サブユニット: SKAP2、FYB、および PTPNS1 からなる複合体の一部です。SKAP2、FYB、および LILRB3 からなる複合体の一部です (類似性による)。 FYN、LCP2、SKAP1、SKAP2 と相互作用する。、組織特異性: 骨髄細胞、T細胞、脾臓、胸腺などの造血組織に発現する。B細胞および非リンパ組織には発現しない。、

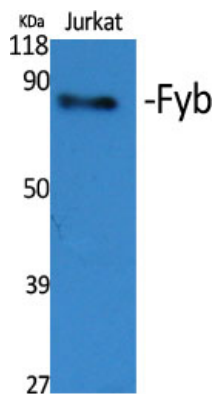
研究分野

シグナル伝達

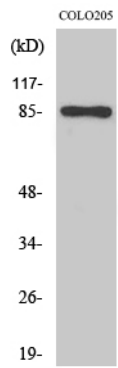
画像データ



FYB 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが FYB ペプチドでブロッキングされている。



Fyb ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



Fyb ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析